

視点:ひと

《 》は、6年度の当初予算額

事業名: 多様な学びの支援 (不登校支援・特別支援教育)		予算額	288,029 《136,177》 千円
	財源内訳	国の支出	958 千円
		都の支出	37,308 千円
		区の支出	243,434 千円
		その他の支出	6,329 千円

【事業の目的・概要】

- ◆ 子育てに関する問題や教育上の諸問題の解決のための助言・指導を通じて、家庭・学校を支援していきます。
- ◆ 障がいのある児童・生徒をはじめ、特別な支援が必要な全ての児童・生徒の一人ひとりの教育的ニーズを就学相談等で把握し、必要な支援・指導を通して共生社会の形成を図ります。

不登校児童・生徒の **学** びの場 191,126千円

1 SSR(※)の拡大 拡充

SSR(※)※Small Step Room

生徒の不登校を未然に防止するため、SSRを中学校内に整備

■4校から10校へ 6,863千円

※ 令和9年度までに全中学校へ設置を目指す



※ 写真は加賀中

2 不登校児童・生徒への家庭学習支援 拡充

不登校で家に籠りがちな小・中学生に家庭教師を派遣し、学びの機会を提供

■家庭教師派遣委託 40,946千円

50人→100人

4 不登校に関する実態調査を実施 新規

全児童・生徒やその保護者にアンケートを実施し、効果的な支援へつなげます！

■アンケート実施委託 12,674千円

3 フリースクール等の利用者助成 新規 拡充

フリースクール等に通う小・中学生の保護者へ助成することで学びの場を提供

■フリースクール (上限2万円/月) 24,000千円

■学びの多様化学校 28,500千円

不登校児童・生徒の推移

年度	小学校	中学校	合計
令和3年度	318	678	996
令和4年度	371	791	1,162
令和5年度	572	960	1,532

特別な支援が必要な児童・生徒の **学** びの場 96,903千円

1 特別支援教室 (コミュニケーションの教室) 継続

知的に遅れはないが、心身の発達などに課題のある児童・生徒の学びの場を提供

■全学校に設置 102校

■利用児童・生徒 2,549人(5年度)

特別支援教室は、通常学級に在籍しながら週1日1時間以上通います。5年度に課題が改善した児童・生徒は18.8%となっています。

2 知的固定学級 継続

知的障がいのある児童・生徒に固定学級での学びの場を提供

■小学校20校 58学級

■中学校10校 32学級

令和7年度増学級

小学校6学級 +48人分 拡充

中学校1学級 +8人分

4 知的固定学級新設 蒲原中学校 新規

(足立区東和3-17-15)

令和7年度工事、令和8年度開設



東エリアの利用者増に対応

■整備経費 60,000千円

3 学校へのSA(※)配置 拡充

※ スクールアシスタント

心身の障がいのある児童・生徒の学校生活を見守り・声かけなどでサポートします！

■73校に270人を配置(5年度参考) 11,220千円

※ 人事課予算

知的固定学級児童・生徒の推移

年度	小学校	中学校	合計
令和3年度	342	199	541
令和4年度	358	218	576
令和5年度	371	236	607

担当課係	教育指導課 教育指導係 支援管理課 特別支援教育係 教育相談課 登校支援係 不登校施策担当 (不登校施策推進担当課 不登校施策推進担当)	問合せ先 (直通)	03-3880-5974 03-3852-2868 03-3852-3652 03-6807-2216 (不登校施策推進担当課の番号は令和7年1月時点では未定)
------	--	-----------	--

※ 令和7年度に組織変更を予定する所属は、新所属名を「担当課係」欄に()書きで表記しています。